

第9回 認知症フォーラム 実施報告

【日 時】 平成 28 年 11 月 26 日(土) 13 時 30 分～16 時 30 分

【場 所】 練馬区役所多目的会議室

【内 容】 テーマ「認知症の今を生きる～地域生活を支えるには～」

第1部 講演 「本人・家族に必要な地域支援とは」

講師： 慈雲堂病院 院長 田邊 英一 氏

第2部 講演 「本人の思い・家族の思い」

講師： デイサービス金のまり ご利用者・ご家族

【参加状況】 参加者:61名

アンケート提出者:45名(回収率:75%)

1 参加者の属性

家族を介護中	8名	17.8%
過去に家族を介護	5名	11.1%
介護に関心がある	11名	24.4%
福祉・医療職	18名	40.0%
不明	3名	6.7%

2 性別・年齢 男性9名 女性25名 不明11名

30代以下	4名	8.9%
40代	2名	4.4%
50代	17名	37.8%
60代	12名	26.7%
70代	6名	13.3%
80代	4名	8.9%

3 満足度

第1部 講演「本人・家族に必要な地域支援とは」

よかった	34名	75.6%
ややよかった	8名	17.8%
ふつう	3名	6.4%
ややよくなかった	0名	0%
よくなかった	0名	0%

第2部 講演「本人の思い・家族の思い」

よかった	27名	67.5%
ややよかった	8名	20.0%
ふつう	5名	12.5%
ややよくなかった	0名	0%
よくなかった	0名	0%

「情報ひろば」

よかった	23名	62.1%
ややよかった	8名	21.6%
ふつう	6名	16.2%
ややよくなかった	0名	0%
よくなかった	0名	0%

4 感想（抜粋）

- ・練馬区の東京都地域連携型認知症疾患医療センターが慈雲堂病院だと聞いていたので先生の話の話を聞いたかった。わかりやすく、よかったと思う。
- ・認知症について、多領域から紹介していただき本人に有効な資料を得ることができた。
- ・何度も話をきくことで、自分自身に内容をすりこみたかった。
- ・区内に専門の医療機関があることを知って、心強く思いました。
- ・うつ病（仮面認知症）と認知症の区別の難しさがよくわかり、うつ病の薬効の良さが印象的でした。
- ・ご本人や家族の話を聞き、家族のありようを考えさせられました。
- ・ご本人と家族が、上手に穏やかに暮らしている様子を拝見し、希望を見た思いがしました。
- ・本人の思い、家族の思いでのお話が実際に今現実の事なので、とてもリアルでした。助け合っているご家族の例だと思います。

- ・貴重なお話をかがえて、勇気ある出演、すばらしいと思いましたが、今現在の落ち着いた状況の話が多く、これまでの苦労の話等もう少しわしく聞きたかった。
- ・愛情あふれるご家族のお話ありがとうございます。気持ちがほっこりしました。
- ・ご本人のお母様をまわりの家族があたたかく見守る感じが感じられて、とても嬉しかった。認知症がこわいとの思いが消えました。
- ・困っていることについて、道を開けていただき助かりました。
- ・ご苦労された部分をもっと聞かせていただければ、もっと参考になると思った。
- ・介護食のサンプルいただきました。

5 練馬区に対して、認知症に関するどのようなことを望むか？

- ・医療と介護の連携をしっかりと、在宅がやりやすいように心を配ってほしい。
- ・医療・福祉施設との連携を強化していただき、認知症を患っているご本人・ご家族が「社会参加」出来るよう、これからもお願いいたします。
- ・認知症家族のフォーラム等の講座を多くしてほしい。
- ・認知症に対応した心理面を洞察するようなセミナーを開催して頂けるとありがたい。
- ・認知症カフェの集客が思うように出来ない事で悩んでいます。地域のお年寄りの方にいらして欲しいのですが、アドバイスやいらしていただけそうな人を紹介していただけないか。
- ・オレンジカフェを開きたいと思うが、どこに相談すればよいでしょうか。
- ・認知症に気づいてからの家族はどうすれば良いか。病院・相談所などの手順のしかたを広く教えて。パンフレットを作って欲しい。
- ・区の高齢者の健診に認知症の検査を取り入れることで、早期発見ができるのではないのでしょうか。健診で早くみつかり、あとの介護費用が少なくて済み、コストはトントンになったりはしませんか。
- ・認知症の医師・病院に気軽に相談、入院ができるような所を増やして欲しい。
- ・独居で認知症になっている方のサポートをもっと手厚く出来ないか。
- ・区の政策は在宅の認知症の人を対象にしています。様々な事情で有料ホームに入居している人へのサポートが少ない。ホームへの相談や困りごとに対応して欲しい。
- ・家族が元気なら、地域に住み続けることが可能。その為にも家族に対する支援を。
- ・これからの時代（とき）を生きる私達。勉強しながら、自分自身らしく生きたいと思っています。知りたいこと、覚えたいこと、気にしながら。

6 認知症サポートセンター・ねりまに対して、望むこと

- ・これからますますいろいろなケースが出てくると思います。(本人も家族も) その一つ一つに耳を傾けていって下さると嬉しいです。
- ・練馬区の企業に対する認知症の方への研修など、ますますできたら、住みやすい街になるのではと思います。
- ・とても良い話なので、もっとたくさんの方に聞いていただけるようにしていただけると良いと思います。
- ・練馬区の認知症行政について、いろいろ知りたい。サポートセンターに登録して情報をいただきたい。
- ・実際の体験(今日のご家族のような)を聞いたりしてみたいです。
あとは、もっと進んだ認知症の方への接し方、ベテランヘルパーさんや看護婦さんのお話、特に食べること、出すことについて。
- ・水曜日の介護相談について何回か相談させていただき助かりました。
SOSは週1でなく、ほかの曜日にも聞いていただけると幸いです。
- ・認知症に対する一般の人々の理解をさらに深めるよう今後、工夫、努力して下さい。
- ・多くの認知症家族の方が参加出来る様がんばってください。